

平成24年度 二宮町ごみ減量化推進協議会 会議録

日 時：平成25年2月12日(火)

10時00分～12時00分

場 所：二宮町役場2階 公室

出席者：平田委員 / 浅田委員 / 大矢委員 / 山田委員 / 西川委員
長尾町民生活部長

事務局：筑紫生活環境課長 / 須田生活環境班長 / 雨宮主事補

傍聴者：なし

1. 開会

会長よりあいさつ

2. 議題

- (1) ごみ減量化・水切りキャンペーンについて
- (2) 水分ひとしぼり・ごみ減量化地域説明会(仮)について
- (3) その他

会長より議事進行

- (1) ごみ減量化・水切りキャンペーンについて
『ごみ減量化・水切りキャンペーンについて説明』

【質問・意見等】

会 長：事務局が前向きに色々なアイデアを盛り込んでくれたので、来年度は期待できると思います。町職員が出向いてのアウトリーチ型のキャンペーンを実施することが具体的に提案されていて、良い提案をしてくれたと思います。広報やお知らせ版での一方通行な活動よりも、地域と密着したお互い顔が見える中での活動の方が、効果が出ると思いますし、地区長連絡協議会や地域環境推進員もこのような事には協力姿勢でいてくれると思います。町役場で作ったチラシを使い、どのような普及活動を行ったら良いかご意見を頂ければと思います。

委 員：大勢集まるイベントで活動すれば成功というわけではないと思います。無料だからという理由でもらっている人もいます。水切りをしてもらうために水切りネットを配布しているのだから、水切りのコツを教える等の活動も必要ではないでしょうか。例えば、地域環境推進員や自治会、婦人会等に協力してもらい、集まり

に出向いて水切りの実演を行う等の方法があると思います。

事務局：地域環境推進員の中では、全員で環境に対する事業を行ったら良いのではという意見が出ていまして、水切りキャンペーンや水切りの実演の際に、手伝ってもらうことも考えられます。

会長：水切りチラシについて、生ごみ 21.6kg から水分が 1.2kg も絞れ、全体として 5.6%削減できたと記載されていますが、5.6%という数字をどこかにもう少し大きく入れた方が良くと思います。

委員：水切りネットと一緒に、絞り方が記載された物が入っている方が良いです。例えば、CDやペットボトルを使った方法等があります。他市町村では、水切り機の配布を行っている所もあります。

事務局：以前水切り機を配布したことがあります、好評ではありませんでした。CDやペットボトルを利用した絞り方も、1つのアイデアだと思います。チラシの裏に絞り方を載せるのはどうでしょうか。

委員：意識の低い人は難しい内容は読まないから、簡単な内容の方が良いです。

委員：仲間内においても、生ごみの水切りを嫌がる人もいます。そういった方の意識を高める方法として、キャンペーンよりも地域の中で意識を高め合っていく方が大切ではないでしょうか。

委員：経済が良くなると、必ずごみが増えます。今後経済が回わり出すとごみは必然的に増えていきます。その中で、住民の水切りに対する意識を高くするために、水切りネット配布キャンペーンは必要だと思います。

委員：ごみの分別にしても、分類の精度を高め過ぎると、減るところか増えてしまうらしいです。ごみの減量化についても、ある程度の限界ラインを決めて行わないと、本末転倒で今までやっていた人がやってくれなくなってしまいます。

委員：街頭キャンペーンで行う場合に、町民以外の人にも配布してしまうデメリットがあるとの事ですが、それならば町全体に全戸配布した方が、効果があるのではないのでしょうか。

事務局：過去に全戸配布を行ったことがあります、それについては検討いたします。

委員：チラシについては、カラーにはできませんか？

事務局：予算の許される範囲で、カラーにしていきたいと思います。キャンペーンの状況を踏まえて考えます。

委員：課題 2 の方法についてですが、現在ふれあいトーク等地域の住民に集まってもらう機会がありますが、水切りキャンペーンを他のイベントと抱き合わせで行うことはできますか？

事務局：イベントに合わせて行う事もできます。議題 2 の内容になりますが、『水分ひとしほり・ごみ減量化地域説明会』を、各地区を回って開催する計画がありまして、その中で水切りのDVDやお願いを説明する時間があります。水切りについての

説明だけを行うのであれば20分程ですので、他のイベントと抱き合わせで行う事ができます。

会 長：イベントとしては、5月下旬のごみゼロキャンペーン、6月の環境フォーラム、11月中旬のふるさと祭り、駅前での街頭キャンペーンがありますが、それ以外に何か考えられますか？

委 員：藤沢市では、小学校5年生を対象に収集車を使ったごみの学習が行われており、生ごみの中から資源物や水分がどのくらい出たか等を実演しています。二宮町においても、町内の小学校に対して収集車を使った学習を行うのはどうですか？

事務局：現在、環境教育として学校側から依頼があり、町内の2校でごみ全般を取り扱った環境学習を行っています。今後水切りについての内容を盛り込むことも面白いと思います。収集車を持っていくこともできると思います。

会 長：ふるさと祭り等で無料での配布を行うと、無料という理由だけでもらう人もいて、本当に効果があるのか疑問に思います。

委 員：地域内清掃の際に、解散する前に水切りについて説明する時間をもらう等、地区長に相談することもできると思います。

委 員：地区長から声がかかったものは、なかなか集まりが悪いです。敬老会等の方が、集まりが良いと思います。

委 員：地域説明会は何箇所を開催予定していますか？

事務局：ふれあいトークでは13地区で行っており、地域説明会においても同様の箇所での開催を考えています。

会 長：集まる時間帯にもよると思います。ふれあいトークでは、土日の昼間やった所は他の行事と重なってしまい、若い人たちの集まりが良くなかったらしいです。

委 員：ごみゼロキャンペーンの際に、水切りネットを配っても良いと思います。その際に地域説明会を併せて行うことはできますか？

事務局：水切りだけの説明となります。地域説明会の内容ですと、時間が掛かり難しいです。

会 長：強化月間をいつ頃にする予定ですか？5月末のごみゼロキャンペーン近辺が考えられますが。

事務局：キャンペーンは5・6月に行い、7・8月に実行していただくと有難いです。期間中は広報車を使い、水切りキャンペーン実施期間の周知を行いたいと考えています。

会 長：地域説明会は、いつ頃を予定していますか？

事務局：できれば夏前のキャンペーンの時に併せて行いたいですが、地区の事情も考慮した上で年度内には開催する予定です。

会 長：地域説明会は、コンパクトにして単独でやる方が良いと思います。

事務局：様々なアイデアを出していただいたので、組み入れながら行いたいと思います。

(2) 水分ひとしぼり・ごみ減量化地域説明会（仮）について

『水分ひとしぼり・ごみ減量化地域説明会について説明』

事務局：各地域を回った時に、『ごみ減量化施策について』の説明だけ行うのであれば 20 分でできますが、『二宮町のごみ処理の現状と今後の予定』の説明については、複雑なため時間がかかってしまいます。全体を通して、もう少し短くする必要はあるかもしれません。

【質問・意見等】

会 長：町の立場としては、どれも大事なのかも知れませんが、住民の立場としてあまり聞かなくて良い部分があると思います。

委 員：処理までに掛かった費用と、どれくらい削減できるかを説明に入れたらどうですか。税金が使われていると考えるとインパクトが強いと思います。

事務局：ごみ処理費用だけで、1人25円程です。

会 長：1年間のごみ処理費用が約3億円で、二宮町の人口が約3万人とすると、ごみの処理に1年間で1人約10,000円掛かっています。そういった説明の方が身近に感じと思います。

委 員：広報に掲載している『資源ごみの売却単価と処理費用』についてですが、具体的な説明がなくて、数字を見ても内容を理解しづらいです。

会 長：資源ごみの内訳を、毎月細かく掲載する必要はないと思います。前月との比較の表現の形を変えても良いと思います。

事務局：検討いたします。

(3) その他

事務局：来年度、開成町グリーンリサイクルセンターから剪定枝堆肥を持ってきて、町民に無料配布する事業を行い、剪定枝を地域循環させる事を考えています。堆肥の置き場については、環境衛生センターに設置する予定です。

【質問・意見等】

会 長：堆肥は、包装はしないで野積みしておくのですか。

事務局：はい。ご自身で袋に入れてもらい、持って行ってもらいます。

会 長：以上で会議を終了とします。

3. 閉会